

外郭団体ミッション遂行評価票

【令和元年度取組結果】

団体名	公益財団法人 アジア成長研究所
-----	-----------------

所管課	企画調整局 国際政策課
-----	-------------

団体に対するミッション
<p>市がアジアの中核的な産業都市として持続的な成長を実現するため、国際水準の知的基盤の強化と地域への知的貢献を目的とする活動を行う。</p>

行財政改革大綱における見直し内容
<p>本市がアジアの中核的な産業都市として持続的な成長を実現するため、今後、アジア諸国の先進事例研究などの活動を推進し、研究成果を積極的に公表し、広報活動を強化する。</p> <p>また、客観的な成果指標を策定し、26年度から3年間、その成果を評価し、その結果によっては、大学等との統合又は廃止を検討する。</p>

ミッションに基づく中期計画								
3~5年後に目指す状態	(1) 学術：RePEC (Research Papers in Economics) 格付けの日本国内研究機関上位10%以内を維持する。 (2) 地域貢献：市や実業界から政策や戦略決定上、有益なシンクタンクとして認知される。							
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績 (太枠は最終目標年度)							
	H27	H28	H29	H30	R1		R2	R3
	実績	実績	実績	実績	目標	実績	目標	目標
著名な学術雑誌への論文掲載数	4本	9本	8本	9本	5本	4本	5本	5本
第三者による研究内容の評価 (RePEc国内上位10%内)	11位/ 171位	14位/ 185位	13位/ 185位	16位/ 190位	RePEc国内 上位10%内	20位/ 194位	RePEc国内 上位10%内	RePEc国内 上位10%内
市政・企業活動に貢献する調査研究件数	3件	2件	1件	3件	3件	3件	3件	3件
成長戦略F参加者の満足度「良かった」の割合	88%	96%	93%	91%	80%	93%	80%	80%

※RePEc=Research Papers in Economics (米国) 世界102カ国の57,000人を超える研究者が登録する経済研究論文データベースサイト (2020年6月現在の登録数=59,119人の研究者及び8,123の所属研究機関)。論文引用数を含む31項目の異なる基準により、登録者の研究内容を客観評価し、毎月ランキング (地域別、国別等) を発表している。

ミッションの遂行状況の評価 (令和元年度)			
団体における評価	学術面では、国内外の学会での発表や論文掲載など活発な活動により、経済研究分野における国際評価の高水準を維持し続けている。また、高名な経済学者達を本市に招き、会議を開催し学術交流を行うとともに、市民向けには民間企業経営者等による講演会を開催し好評を博した。	市の評価	目標を上回る件数の外部資金を獲得し、研究を進めるとともに、国際的評価のランキングでは国内20位に着けるなど高い評価を受けている。また、市民・企業向けの講座については13回開催し、成長戦略フォーラム参加者の満足度も高いなど、研究成果の地域への還元を推進していることから、概ね成果指標の目標は達成している。
	今後の課題及び見直し内容 (案) 市政および企業活動に貢献する為の調査研究について、各研究員の基本プロジェクトでの実施実現に向けたヒアリングを早い段階で実施するとともに、外部委託の獲得にも努める。また、市民向け講演会の『成長戦略フォーラム』の内容を更に時代のニーズに即したものと充実化を図る。さらに、リモート会議を導入するなど、「新しい生活様式」に対応した運営・情報発信に取り組む。		団体への改善指導内容 (案) 研究活動については、引き続き、外部資金を獲得するために不断の努力を行うとともに、「国際水準の知的基盤の強化」を推進するように求める。また、市民・企業向けの講座に関して、より参加者の期待に沿う内容へと充実を図るなど、さらなる地域貢献に重点を置いて活動するように指導する。

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況	
見直しの分類	特に具体的な成果が求められ、成果が見られなければ統廃合を検討する団体
H26年度から3年間の総合評価の結果、概ね高水準で目標を達成していたため現状の体制を維持することとなった。	